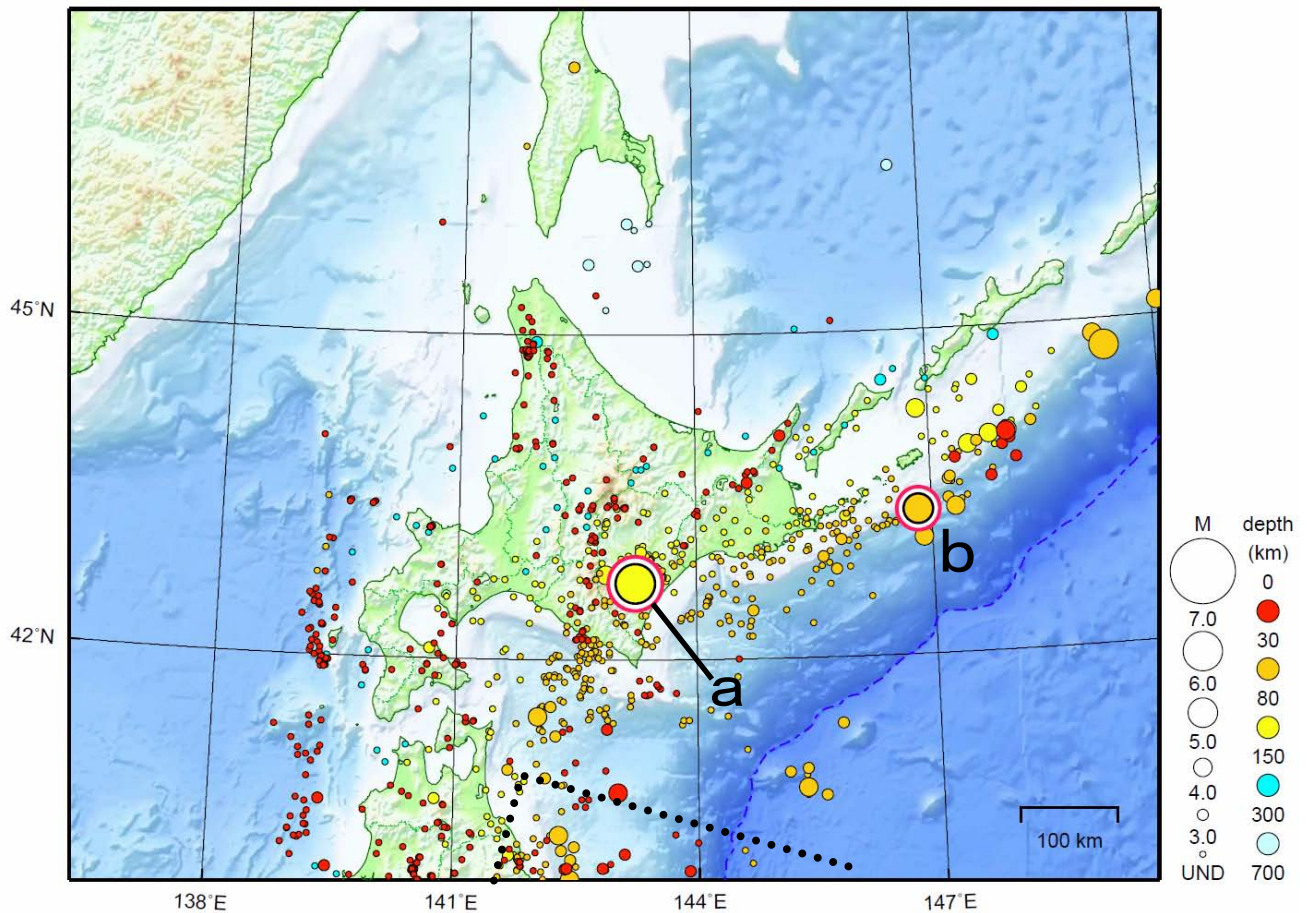


# 北海道地方

2013/02/01 00:00 ~ 2013/02/28 24:00

N=1576



点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

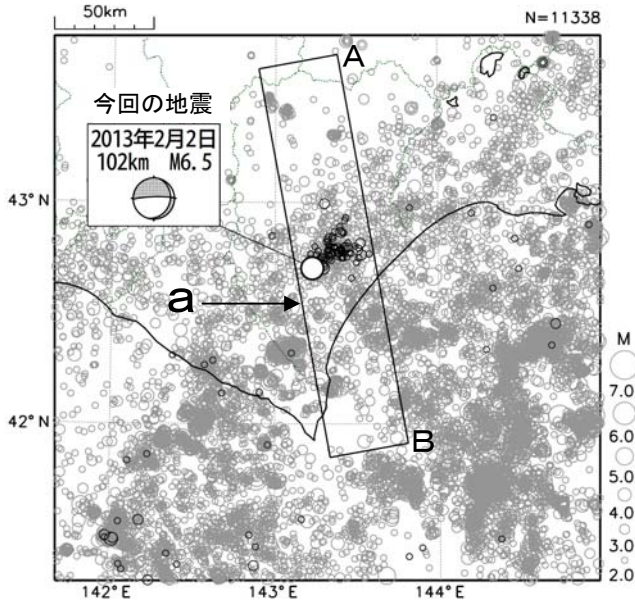
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- a) 2月2日に十勝地方南部で M6.5 の地震（最大震度 5 強）が発生した。  
気象庁はこの地震に対して[十勝地方中部]で情報発表した。
- b) 2月17日に北海道東方沖で M5.3 の地震（最大震度 3）が発生した。

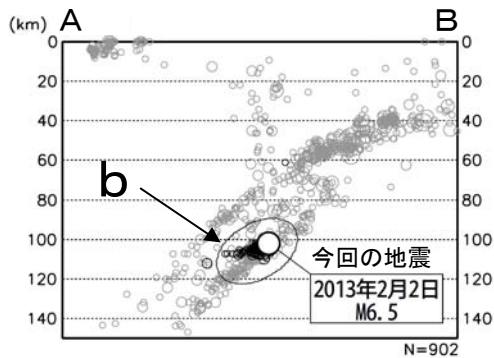
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

## 2月2日 十勝地方南部の地震

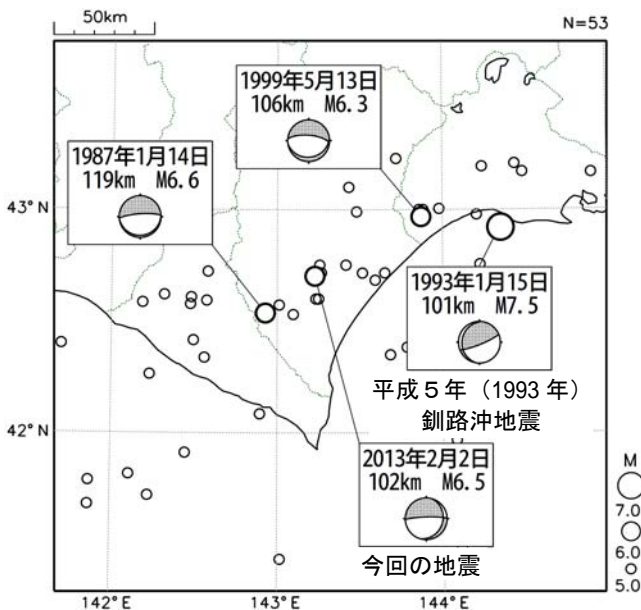
震央分布図(2001年10月1日~2013年2月28日、  
深さ0~150km、M 2.0)  
2013年2月2日23時以降の地震を濃く表示



領域a内の断面図(A-B投影)



震央分布図(1923年1月1日~2013年2月28日、  
深さ90~120km、M 5.0)



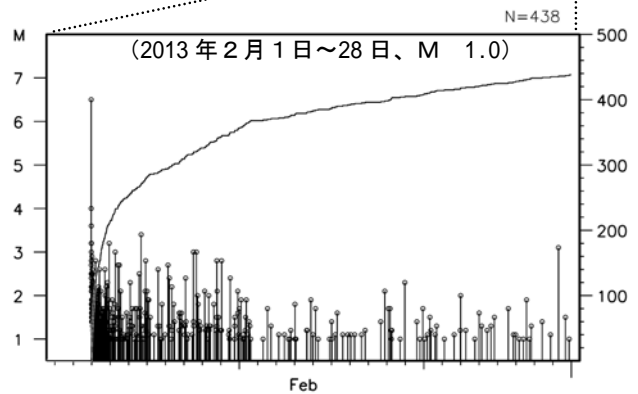
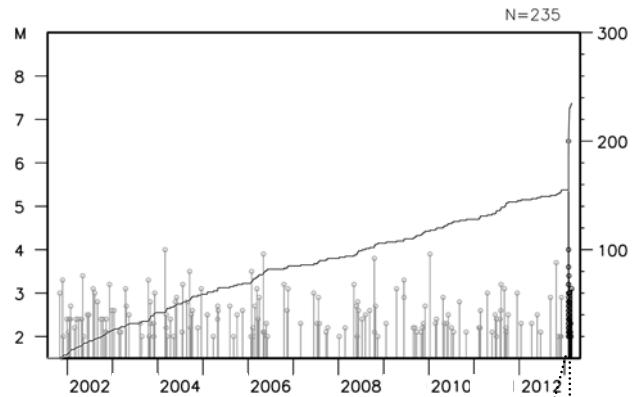
気象庁はこの地震に対して〔十勝地方中部〕で  
情報発表した。

2013年2月2日23時17分に十勝地方南部の深さ102kmでM6.5の地震(最大震度5強)が発生した。この地震の発震機構は、太平洋プレートの傾斜方向に張力軸を持つ型で、太平洋プレート内部で発生した地震である。この地震により、負傷者14人、住家一部破損1棟の被害が生じた(総務省消防庁による)。なお、この地震の余震活動は、2月末現在も継続している。

2001年10月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0を超える地震は発生していなかった。

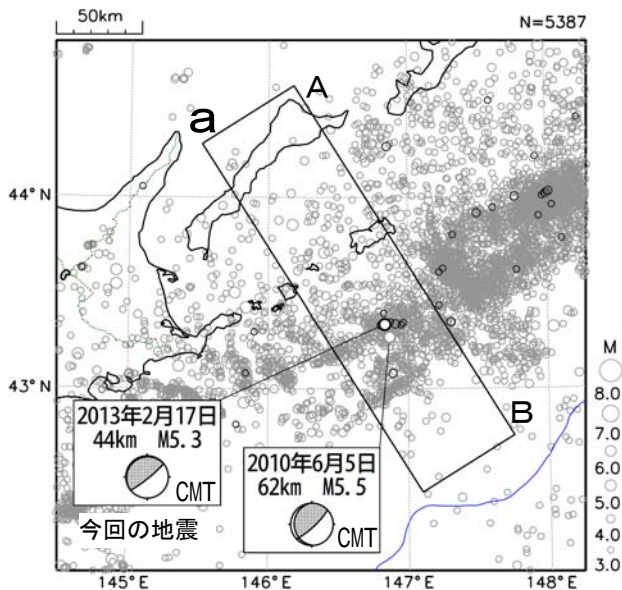
1923年1月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震源周辺では、M6.0を超える地震が発生しており、1987年1月14日のM6.6の地震(最大震度5)では、重軽傷者7人、建物破損などの被害を生じた(「最新版 日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



## 2月17日 北海道東方沖の地震

震央分布図(2001年10月1日～2013年2月28日、  
深さ0～150km、M 3.0)  
2013年2月の地震を濃く表示

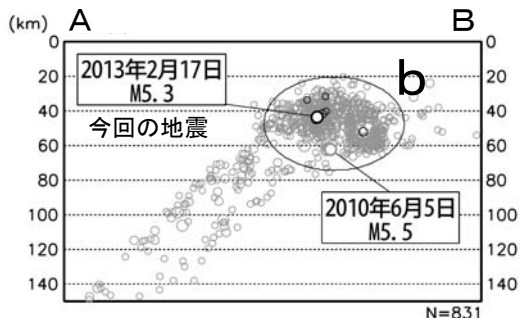


2013年2月17日07時17分に北海道東方沖の深さ44kmでM5.3の地震 (最大震度3) が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。

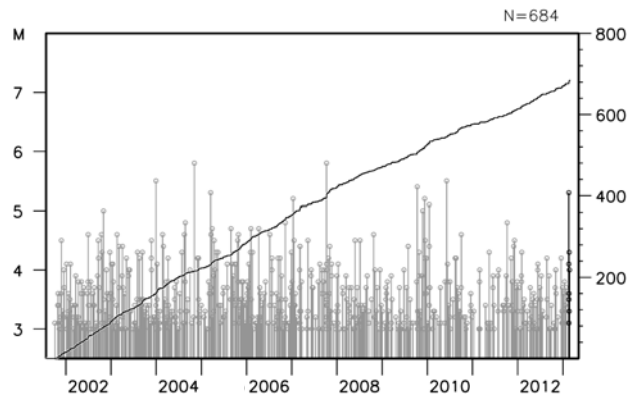
2001年10月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M5.0以上の地震が時々発生しており、最近では、2010年6月5日にM5.5の地震 (最大震度3) が発生している。

1923年1月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央周辺では、M7.0以上の地震がしばしば発生している。最大は「平成6年 (1994年) 北海道東方沖地震」 (M8.2、最大震度6) で、負傷者436人のほか、住家被害、船舶被害など、地震と津波による被害を生じた (「最新版 日本被害地震総覧」による)。

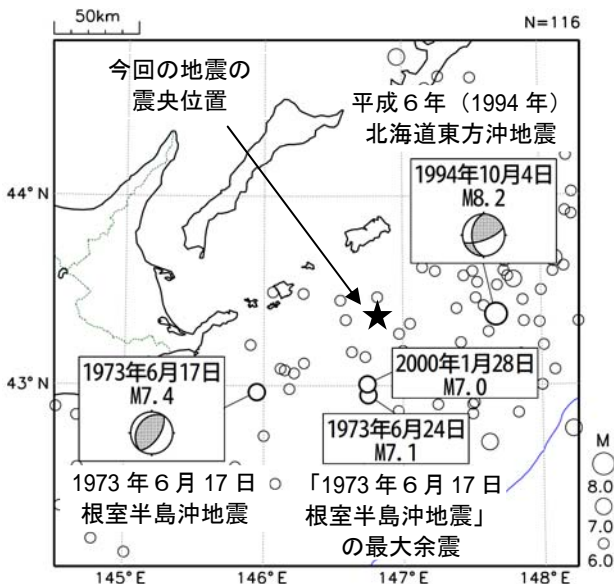
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



震央分布図 (1923年1月1日～2013年2月28日、  
深さ0～100km、M 6.0)



左図の領域内の M-T 図

